東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ
地域を育み、大地をつなぐ
地域を育み、大陸をつなぐ

Vol.44　第2161回例会　2011.3.24

今年度会長テーマ　温故知新　そして　和

■司会：
戸澤例会運営委員長

■点鐘：山本会長

点鐘前に東日本大震災
犠牲者に黙祷

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：
村田会員

■入会式

■入会者紹介：
金子会員

野村さんとは、地元廻田町で、一緒に活動をともにしている仲間です。慶応大学を卒業し、スバル(富士重工株式会社)で3代目レガシーの開発をされました。現在は、子会社の役員で、とても真面目な方なので、これから一緒に仲良く活動できると確信しています。生まれは昭和23年子年です。皆さんよろしくお願いします。

■入会者：野村裕夫さん

名誉ある東京東村山ロータリークラブに入会でき、大変光栄に存じます。先程ご紹介いただいたように、野澤さんよりロータリーの理念をプレゼンして頂き、仕事を通じての奉仕に興味を覚えました。私は団塊の世代の真只中で育ち、自由主義経済の企業で生きてきました。自分なりに勉強したいと思いますが、歯に衣を着せぬ助言を頂きながら、是非力になりたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。
※所属委員会は例会運営委員会と決定

■会長報告　山本会長

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／野村　高章　石山　敬
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

皆様こんにちは。2週間ぶりにお会いしますが皆様お元気ですが？3月11日に起こった、東北地方太平洋沖地震とその直後に起きた1000年に1度といわれる大津波により余りにも多くの尊い人命を失い、余りにも莫大な被害を我が国日本は受けました。
皆様のご親戚、知人、お仕事関係の方々は無事だったでしょうか？本日の発表では、死者9487人、行方不明15617人、負傷2755人、建物破損135200戸と発表されていました。また日本の動力源である原子力発電所の損壊により放射能汚染の危機と被爆の恐怖にさらされ、さらに計画停電とそれに伴う列車の運休と、東京の機能麻痺状態になってしまいました。誰もが今までに経験をしたことのない生活を送ることを余儀なくされています。
しかし復興の為に努力をされている方々、命をかけて原子力発電所の安全を取り戻すべく復旧作業に日夜取り組まれているレスキュー隊、警察、自衛隊、その他多くの方々には、心からご活躍に敬意を払い感謝を申し上げなくてはいけないと思います。
私たちも、東京にいて先ず何が出来るかを考え、小さな事からでも良いと思います、先ず出来ることから1つ1つ協力をして行きましょう。数は力成りと申します。1人1人の力は小さくても多くの人々が集まれば巨大な力となります。節電、買い控え、歩く、こんな身近な事からまずは実践されては如何でしょうか？
さて、少し話は変わりますが、我がクラブ内でも地震の影響の為に色々とご報告をしなければいけない事が起こりましたので、順番にお話を致します。
①地震災害の為にＦＲＣ合同例会が延期になりました。
　開催日未定。
②我がクラブの親睦旅行も延期とさせて頂きました。
　開催日未定。
　緊急時の為に電話にての緊急理事会を執り行い決定させて頂きました。
③ＦＲＣに変更の16日(水)の例会は、クラブ定款第6条第1節(C)取消。
　「全地域社会にわたって流行病もしくは災害が発生した場合、または地域社会で武力紛争がクラブ会員の生命を脅かす場合、理事会は、例会を取り止める事ができる。」に当たると理事会にて判断し例会を取消させて頂きました。
④とても残念な報告ですが、交換留学生のヤカブ・ティーメアが日本に起きた地震災害と原子力発電所事故の為に、ご両親が心配されて帰国を強く望まれました為に、残念ながら帰国致しました。本来であれば例会にて皆様にご挨拶をしてからと考えておりましたが、緊急であった為に、会長、幹事、赤木ホストファミリー、野澤カウンセラーの判断にて帰国をさせました。皆様にお詫び申し上げます。

スローガン復唱
①例会に出席し、メンバー間の懇親を深め、自分自身に有意義な例会を見つけよう。
　そして自分自身の例会出席の楽しみを見つけよう。
②例会を欠席したら、メークアップを必ずしよう。
③入会時のスポンサーは新人メンバーのメークアップの面倒を必ず見よう。
④食事の廃棄を少なくする為に例会を欠席する時には、前々日までに事務局に連絡を入れよう。
⑤夜間例会、懇親会、旅行に奮って参加しメンバーの懇親を深めよう。
⑥クラブメンバーの全員卓話を盛り上げよう。
⑦マイ箸を失くさない様に使おう。
⑧交換留学生をしっかりと育てよう。
⑨阿部ガバナー補佐の掲げた、キャッチアップ90
　(出席率90％以上)を実現しよう。
2月も出席率平均90％を達成しました。皆様のご協力をお願い致します。
最後に成りましたが、私達はこの地で無事に生きている事に心より感謝をし、地震災害にて亡くなられた多くの方々のご冥福を祈り1日でも早い災害地の復興を願い、本日の会長挨拶、会務報告とさせて頂きます。

■幹事報告　　中丸幹事

■ガバナー事務所：
・Ｒ財団2011年4月1日以降の寄付について
　Ｒ財団が「公益財団法人ロータリー日本財団」となり各々の寄付金先と書式が変更となった。
・東日本大地震被災地区に対する義捐金の(具体的な)お願いついて
　会員1人当たり1口1万円(1口以上)

■クラブ奉仕委員会：
　アンケート協力のお願いについて
　〆切り　3月31日(木)　ガバナー事務所まで

■国際奉仕委員会：
　地区国際奉仕委員会(2011-12)第1回会議開催について
　2011年4月14日(木)　15:30～
　於　社団福祉法人救世軍社会事業団1Ｆ

■日体桜華高等学校：
　高等学校第54期生の入学式の案内について
　2011年4月9日(土)　10:30～
　於　第一体育館

■東村山消防少年団：
　東村山消防少年団入卒団・進級式の実施について
　2011年4月17日(日)　10:00～
　於　東村山消防署(現状況で変更の場合有)

■東京東大和ＲＣ：
　2010～2011年度第6回現・次年度合同多摩分区連絡会の案内の受理
　2011年4月10日(日)　13:30受付　14:00～
　於　パレスホテル立川

■青少年交換委員会：
　茶道・ジャパンツアー中止の連絡の受理
　地震の影響により行事の中止
　①3/19(土)　茶道お稽古
　②3/25(金)～4/3(日)　ジャパンツアー

■バギオ基金：
　バギオ基金第2回臨時評議員会の開催について
　2011年5月16日(月)　17:00～

■青少年育成委員会：
　青少年育成アンケートのお願いについて
　〆切り　5/15まで　ガバナー事務所

■国際ロータリー日本事務局：
4月のロータリーレート　1ドル＝80円

■ロータリー財団委員会：
2011-12年度ロータリー財団グローバル補助金並びに新地区補助金の利用方針の変更について
・東北関東大震災の為、次年度ロータリー財団補助金を復興に利用することを決定。
・2011-12年度の募集を中止

■ガバナーエレクト事務所：
2011-12年度「地区米山奨学委員会委員」就任と承認のお願い
野崎一重会員

■例会変更：
東京小平ＲＣ　3月30日（水）→通常例会

■回覧：
米山梅吉記念館館報
武蔵野女子学院　ニュースレター

■計画停電について　北久保会員

東村山市の約7割は停電しない地区となっています。詳細は別紙明細をお渡ししますので、ご覧下さい。グループが細分化されても変わらないと思います。その理由は、西武鉄道と同じ変電所だからです。西武線を止めることは無いと思います。金町浄水場の件で、東村山市は、多摩川水系ですので問題有りません。以上です。

■出席報告　田中例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
36	27	1	6	81.82

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：3名
■前々回出席率メークアップ修正後：90.91％
■前々会メークアップ者：
飯田会員：所沢ＲＣ
中條会員：立川ＲＣ
枕山会員：日高ＲＣ
土田会員：清瀬ＲＣ
當麻会員：東大和ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　相羽クラブ管理委員

■ご結婚祝月：枕山会員

◆當麻会員：同級生（化成小学校）の野村さんお待ちしておりました。妹さんには高橋クリニックではお世話になっております。

◆野澤会員：野村裕夫さんロータリーへようこそ。楽しいロータリーライフを一緒にやって行きましょう。

◆金子会員：野村裕夫さんロータリーへようこそ。楽しいロータリーライフを一緒にやって行きましょう。

◆野村（裕）会員：
これから皆さんと一緒に楽しくロータリー活動をして行きたいと思います。よろしくお願いします。

◆山本会長、中丸幹事：
野村様、ご入会おめでとうございます。ご一緒にロータリーライフを楽しみましょう。

◆戸澤会員：13年前にオーストラリアから交換留学生で来日したミッシェルから、地震の安否のメールが届きました。

◆嶋田会員：野村さんようこそ。入会おめでとうございます。これからは皆さんと一緒になって世の中の為に尽くして行きましょう。

◆漆原会員：野村さん入会おめでとうございます。

◆山宮会員：本日卓話をさせて頂きます。よろしくお願いします。

本日のニコニコ合計：　28,000円
累　　計　：1,035,019円

■卓話

■卓話者：山宮会員

イニシエーション・スピーチ

みなさん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました多摩信用金庫東村山支店支店長の山宮隆です。ご指名により、お話をさせていただくことになりました。15分間、一生懸命やらせていただきますので宜しくお願いします。
まずは自己紹介をさせていただきます。
《経歴》
・昭和41年12月22日生まれで、今年45歳です。幼少の頃より、ピアノ・珠算・書道・剣道を習っておりました。
・家族構成は35歳の妻と4歳の長女、1歳の長男で、現在は日野市三沢(京王線百草園)に住んでおります。計画停電は5回
・専修大学商学部卒業後、平成元年4月に八王子信用金庫に入庫。入庫時65kgあった体重は35歳時には53kgまで絞り込みましたが、2年前に始めた禁煙と「幸せ太り？」からか現在は75kgまでバージョンアップしており、最近の健康診断の結果は決して良いものでなく、いくつかの改善が必要な項目があり、息子の学資保険に加入出来ない状況にあります。
・先日、昔の職場の仲間と会いましたが、「昔の山宮さんはシャープで怖く近寄り難かったけど、今は丸くなって可愛いですね！」と言われてしまいました。4月よりジムに通ってシェイプアップするつもりですので、ロータリーの皆様には経過観察を楽しんでいただけたらと思います。
・平成元年、宇津木支店の開設準備委員として4月より営業を開始。その後、現在の豊田北口支店で5年、相模原支店で1年、計7年の営業係を行いました。
・平成8年4月に業務部営業推進課に配属(3年間)
・平成11年4月より子安支店にて営業課長2年、融資課長1年5ヶ月勤めました。
・平成14年8月、経営企画部経営企画に配属。
主な業務は
①長中期計画書の作成
②営業店及び金庫の収益管理
③(年間・半期)ディスクロージャー誌の発行
・平成18年1月の合併にて多摩信用金庫村山支店で融資課長2年、営業課長2年。
・永山支店で副支店長を経て、今年1月より東村山支店支店長を拝命しております。

《金融機関の流れ》
・バブル期は、「貸出金はいくらでも増える。預金さえ集めればよい」という時代が続きました。預金金利は10%弱。貸出金については地縁・人縁、担保があれば審査は通りました。その後、バブルが崩壊。地下の下落が続き、担保割れ(保全不足)先が増加しました。
・平成10年3月の決算期から導入された「自己査定」により銀行等金融機関を取り巻く環境は大きく変わりました。結果、金融機関は保証協会融資に走り、プロパー融資を控えるようになりました。このような流れを受け、金融機関の預貸率(融資量÷預金量)は大きく減少しております。
・対応策として、株式及び債権等の資産運用を図りましたが、(平成13年3月期から導入された時価会計の影響もあり)運用実績は金融機関によって大きく乖離しております。近年ではサブプライムローンの影響で大きな痛手を受けられた金融機関が見られました。

《他行との差別化が必要とされる時代へ》
・一人でも多くのお客さまのお役に立つことが、地域への貢献となるものであり、職業奉仕活動に繋がるものと考えております。
・私も、しっかりとお客さまと膝を交え、信頼関係を作らせていただき、お客さまの課題解決に努めさせていただきたいと考えております。金融業務に通ずる(財務)サポートだけで無く、事業面でのサポートを積極的に行っていきたいと思いますので、お客さまには多摩(地区)のネットワークをフルにご活用していただきたいと思います。
・多摩信用金庫東村山支店が、しっかりと存在価値を持ち続け、地域やお客さまに必要とされる金融機関であり続けることをお約束し、私の発表を終わらせていただきます。

内容の無い話で、皆さまを退屈にさせてしまい申し訳ございませんでした。こんな私ではございますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■卓話者：嶋田会員

農業の現状について

今回の東日本大震災で、福島県の作物10品目がダメになり非常に残念です。原発の事故が有った時からこうならないといいなと思っていましたが現実となりました。作物はすぐに出来ないんです。例えば小松菜ですが、皆さん信じられないかもしれませんが、夏場ですと25日で出来ます。年間で江戸川の小松菜は、年間で8回収穫できます。少し休ませながら8回転出来ます。自分の話をしますが、昨年12月にハウスを作り、小松菜とホウレン草を一緒に種蒔きしましたけど、収穫は2月末から3月にかけて、60～65日かかり一緒に収穫しました。報道等でハウスの出荷できない作物を刈っているのを見ると、とても辛いです。ハウスで作っても安心で無いとなったら、3000坪で育てた作物を捨てなくてはいけません。政治家の皆さんには、農家が生活できる値段にして下さいといつもお願いしてます。都市農業で、都民の10%を賄っています。三大都市圏以外であれば、相続しても土地は残りますが、都市近郊では、相続すると土地は残りません。相続時に半分くらい無くなります。都市近郊農家は、その分不動産を取得していますので、固定資産税はタダ同然になりますが、なかなか認めてもらえません。牛肉等はまだ汚染されていませんが、牛乳は全部捨てている状況です。丁度10年程前に、汚水処理がないと経営できなくなりました。小便は穴掘って捨てて、大便は乾燥させてから処分とい

う手間がかかっています。風評被害で安全な作物まで安く売らなければならない。長い期間かけて作ってきた作物を出荷できませんという一言で出荷停止では、あきらめ切れません。保障して下さいという気持ちは当然だと思います。今収穫出来るキャベツは種蒔いてから3ヵ月は掛かります。昨年の11月に種を蒔いて、定植させてようやく出荷できるのに一言でダメですよと言われて、そうですかと言わなければならない。これ程農家にとって厳しいものは有りません。あの津波で海水をかぶった農地は5～6年は田んぼとして利用できないと思います。作物には連作障害というものが有ります。イネだけは連作障害はありません。常に水で清めているからで、里芋などは5年経たないと同じ里芋は出来ません。埼玉県では、連作をするために農薬を使用しています。作物は沢山出来るが、土中の細菌が死んでしまうので味の良い作物が出来ません。味は本来土中の色々な要素を取り込んで出来ています。東村山では、薩摩芋が特徴でしたが、土壌消毒をしたためその後ダメになった。いろんな意味で農家の人に、これから立ち直って欲しいと思いますが、今回の地震では、一人一人がみんなで、助け合って行かなければなりません。これから立ち上がっていくには、みんなの力がなければならないと思います。私も、みんなと一緒に出来ることが有ればやっていきたいと思います。今日は卓話にならない、私の、農家の思いを皆さんに伝えられたら良いなと思ってお話させて頂きました。イニシエーションスピーチはまた別の機会が有ればやらさせて頂きます。今日はこれでお許しを頂きたいと存じます。有難うございました。

■第5回 臨時理事・役員会

2011年3月24日(木)　　於　八坂神社応接室 11:30～

■東日本大震災被災地区に対する義援金の件
各クラブに対し、ガバナーより義援金の協力依頼があり協議した。この中で予め1名当たり何円・目標金額何円という義援金の集め方は、ロータリーの精神から如何なものかとの意見があり、当クラブでは金額については会員の自主性に任せる事とした。但し、この未だ経験した事のない大災害に対して当クラブもできる限りの協力をするという立場から、目標額に届かない場合を含めて親睦費・予備費等からも義援金に協力することとした。

■親睦旅行の日程について
野村クラブ管理委員長より3/17～3/18の親睦旅行は延期としたが、今後の予定について報告がされた。現段階では6月中下旬に予定しているが、実施の可否は社会情勢等を考慮に入れて1～2カ月様子を見ることで了承された。

■その他
①青少年交換留学生が3月18日に帰国した旨の報告があった。これは本国の両親からの帰国願いや本人の意思を確認し、地区委員会・学校に連絡の後、速やかに実施したため事後報告となった事が説明され了承した。

■点鐘：山本会長